

## 安全データシート

改訂日:2021年4月26日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

ニリン酸カリウム

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

CB2053

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分5 (JISでは区分外)

急性毒性(経皮):区分5 (JISでは区分外)

皮膚腐食性/刺激性:区分2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分2

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

警告

飲込むと有害のおそれ

皮膚に接触すると有害のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する時は洗濯すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

注意書き

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

危険有害成分

化学物質

ニリン酸カリウム

ピロリン酸カリウム

K<sub>4</sub>P<sub>2</sub>O<sub>7</sub>

CAS RN:7320-34-5

(1)-452

ニリン酸カリウム

## 4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除く。皮膚を流水/シャワーで洗う。

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

水でうがいさせ、水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。

吸入:灼熱感、咳、息苦しさ、息切れ、咽頭痛。症状は遅れて現われることがある。

皮膚:発赤、皮膚熱傷、痛み、水疱。

眼:発赤、痛み、重度の熱傷

経口摂取:腹痛、灼熱感、ショックまたは虚脱、咽頭痛。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有毒なフュームやガス(PO <sub>x</sub> 、Na <sub>2</sub> O)を放出する。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	こぼれた物質をプラスチック容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。
二次災害の防止策	該当情報なし。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	該当情報なし。
(局所排気、全体排気)	局所排気または全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	粉じんを吸入しないこと。
接触回避	酸化剤との接触を避ける。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は手などをよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、涼し換気の良いところに保管する。
安全な容器包装材料	ポリプロピレン、ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(出典)	
管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	呼吸器用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	呼吸器用保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	白色の粉末
臭い	該当情報なし。
融点・凝固点	1,090°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	水溶液は弱アルカリ性(1%溶液pH10.3)
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	190g/100g 25°C,水
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	2.61g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	吸湿性がきわめて強く、関係湿度40～45%以下なら吸湿して3水塩になり、これ以上吸湿しない。関係湿度45%以上では潮解する。
危険有害反応可能性	酸と反応する。
避けるべき条件	高温、多湿
混触危険物質	強酸、強酸化剤
危険有害な分解生成物	PO <sub>x</sub> 、Na <sub>2</sub> O
11. 有害性情報	

急性毒性	経口:	LD50-ラット 4000mg/kg (JIS:区分外、UN:区分5)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	経皮:	LD50-ラット >4640mg/kg (JIS:区分外、UN:区分5)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		皮膚に対して刺激性があり、EU-Annex I でR36/37/38に分類されている。(区分2)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		眼を刺激し、EU-Annex I でR36/37/38に分類されている。(区分2)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。
	長期: (慢性)	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		該当法規制特定できず。
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法		危険物に該当しない。
16. その他の情報		
参考文献		The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vol.3 16615の化学商品(化学日報社) 国際化学物質安全性カード(ICSC) GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会) GHSの挑戦(化学工業日報社)
		記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。